



中学生・高校生向け



『きみの存在を意識する』

梨屋アリエ／作
ポプラ社 ¥1,500(税別)

中学2年生が登場する連作短編集。トップバッターは読む速度が遅く悩むひすいと、養子ゆえい子子を演じる弟拓真。章ごとに主人公が変わるので視点が切り替わり、一人一人の特徴、友達や先生、親との関係、本音が鮮やかに描き出される。



『残酷な進化論』

更科功／著
NHK出版 ¥800(税別)

生物としての人間は意外と不完全?進化論についてヒトと動物の身体を比較しながら解説する。専門的な話もわかりやすい例えを使い説明しているのも、科学初心者でも大丈夫。分子古生物学者の著者と一緒に未知の世界へ飛び込んでみては。



『10代のための疲れた心がラクになる本』

長沼睦雄／著
誠文堂新光社 ¥1,300(税別)

「上を向こうよ」と著者は言う。悩みや不安を抱えている10代が、上を向いて一歩踏み出すための「知識」と「技術」がわかりやすい言葉で書かれている。10代はもちろん、10代の子を持つ親にとっても参考になる一冊。



『15歳、まだ道の途中』

高原史朗／著
岩波書店 ¥880(税別)

新学期が始まり、クラスの中には不安や憂鬱、葛藤で満ちている。15歳、中学3年生という繊細で難しい年頃の、あるクラスの1年を追う。どう考え、決断し、生きていくか、「道の途中」を生きている中学生たちの物語。



『十四歳日和』

水野瑠見／著
講談社 ¥1,400(税別)

グループにどこかなじめない女子。幼なじみに好きな人ができて動揺する男子。いろんな想いを抱えて、悩んで考えて日々を過ごし、自分の気持ちに気づいたり、物事を前向きに捉え始めた中学生たちを描いた4つの短編が収録されている。



『世界秘境マップ』

ティラン・スラス、ローズマリー・モスコ／文 ジョイ・アン／絵 樋口武志／訳
飛鳥新社 ¥2,000(税別)

廃墟になったアミューズメントパーク、虹色に輝く間欠泉、ヘビの島…冒険好きにおすすめの世界各地に実在する秘境100か所をイメージ図付きで紹介した本。日本からも島の中に島がある青ヶ島や、即身仏が残る寺が紹介されている。



『ゼノビア』

モーテン・デュアー／文 ラース・ホーネマン／絵 荒木美弥子／訳
サウザンブックス社 ¥2,300(税別)

その昔、シリアを統治した美しくも勇敢な女王ゼノビア。彼女を見習いあきらめないでと励ましてくれた父も母もいなくなり、難民ボートから投げ出され、私は暗く深い海へと沈んでいく。絵を通して描かれるシリアの現実が胸に刺さる物語。



『蝶の羽ばたき、その先へ』

森埜こみち／作
小峰書店 ¥1,400(税別)

耳鳴りが続き、左の耳が聞こえなくなった!中学2年生の結は教室で会話が聞き取れず落ち込む。結が同じ突発性難聴の女性と出会い、手話サークル活動や幼なじみの涼介の励ましで勇気を得て、親友に耳の事を打ち明けるまでを描いた物語。

その他のおすすめの本



『アドリブ』

佐藤まどか／著 あすなろ書房 ¥1,400(税別)

『国籍の?がわかる本』

木下理仁／著 山中正大／イラスト 太田次郎社エディタス ¥1,000(税別)

『化石ハンター』

小林快次／著 PHP研究所 ¥1,200(税別)

『新聞の読み方』

池上彰／著 祥伝社 ¥1,400(税別)

『「空気」を読んでも従わない』

鴻上尚史／著 岩波書店 ¥820(税別)

『たいせつな人へ』

マイケル・モーパゴ／著 バルー／絵 杉田七重／訳 あかね書房 ¥1,300(税別)

『故郷の味は海をこえて』

安田菜津紀／著・写真 ポプラ社 ¥1,400(税別)